

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



イベント盛りだくさん

光の道ウィーク



▲九州各地や地元のご当地グルメが集合



▲水産高校の生徒たちが作った水高バーガー



▲光の道競書大会の褒賞作品を展示



▲全国から13の自治体が集まり、門前町の活性化について熱く意見を交わしました



▲ラジオの公開生放送には市長も出演



▲参道の真上ではありませんでしたが、一瞬太陽が顔を出しました

航空会社のテレビCMで全国的に有名になった「光の道」。毎年2月と10月の数日間、宮地嶽神社の参道の先に夕陽が沈むときに見られ、近年は全国から観光客が訪れています。この期間に合わせて、10月13日〜22日に福津の秋のイベントを集約した「光の道ウィーク」

が初めて開催されました。13日、14日に宮地嶽神社で行われた「全国門前町サミット in 福津」には、寺社仏閣を中心とした門前町がある自治体や関係者が集い、門前町の特性を生かしたまちづくりについて意見交換しました。他にも、ラジオの公開生放送などさまざまなイベントが催されました。津屋崎漁港では今年で3回目となる「九州食の収穫祭 in 福津」が開催され、2日間で2万5千人が訪れました。来場者の一人は「雨が降っていたので行こうか迷ったけれど、おいしいものがたくさん食べられてよかった」と喜んでいました。期間中はあいにく雨の日が多く、延期になったイベントもありましたが、市内外からたくさんの方が福津市を訪れた10日間となりました。

みんなで福祉を考えよう

ふくつのふくしフェスタ2017



▲食品や日用品を販売



▲講演会には82人が訪れました

「みんなで手をつなごう」をテーマに、10月1日にイオンモール福津でふくしフェスタが開催されました。市内の障がい者施設で作られた「まごころ製品」を販売するまごころマーケットでは、施設の人とお客さんの交流もありました。また、認知症支援啓発イベントでは、認知症サポートー養成講座や講演会があり、水光会総合病院の木下良正医師は「認知症の人に寄り添う心が必要です」と語りました。



▲福津市ではJA宗像の給油所2か所が該当

災害時には協力します

緊急車両への優先給油の覚書を締結

大規模災害発生時、消防車などの緊急車両に優先的に給油できるように、宗像地区消防本部が福津・宗像市の4事業者と覚書を締結しました。両市の7か所が優先給油所に指定され、表示証が交付されました。灘辺消防長は「いち早く現場活動ができれば、市民の命が助かることにつながると感謝を伝えました。」

世界遺産の認定書を受けました

文化庁で認定書の伝達式



▲認定書を受け取った原崎市長(左)、小川県知事(中央)、谷井・宗像市長(右)



▲認定式では宮田長官が製作した銅鑼を鳴らすのが恒例です

7月に世界遺産に登録が決定した「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の認定書伝達式が、10月16日に文化庁で行われました。ユネスコから交付された原本は文化庁が保管し、宮田文化庁長官が県と福津・宗像市それぞれにレプリカを手渡しました。認定書には、世界遺産一覧表に記載された旨が英語で書かれています。原崎市長は「資産の価値をきちんと広めていきたい」と決意を新たにしました。

交通ルールを守りましょう

秋の交通安全県民運動



▲JR福岡駅前で見守り活動をした市長

秋の交通安全県民運動が9月21日から9月30日まで県内各地で行われました。9月21日の早朝には、原崎市長や市職員が市内各地の交差点に立ち、交通安全の街頭啓発をしました。市長は、通勤する人や登校する学生に「横断歩道を正しく渡りましょう。いつてらっしゃい」と呼び掛けていました。